

## 緑の担い手

# 林業に携わってみて

(有) 石田木材

身内 将彦

私が林業に携わるきっかけになったのは、友達の家で林業をやっていたからです。私が前の会社を辞めて次の就職先が見つからなかった時に友達に誘われ石田木材に入社しました。その時に、「緑の雇用」制度を知りスキルアップのためにも受けてみたいと思いました。

前職は、建設業の仕事であったために車両系の資格も有していたので、はじめの頃の作業は機械がメインでした。運転には多少の自信はあったのですが、林業用の機械は、仕様も違うので、いざやってみると長い物を掴んだり、回したり、重ねたりする動きが不慣れで、コツを掴むまでには一苦労しました。

チェーンソー作業は、機械を乗りながら先輩方の扱いを見ていたのですが、実際にやってみると恐怖感もあり先輩方のように扱うのは到底無

理でした。初めは先輩が倒した木の枝払いからはじめ、チェーンソーの扱い方を身体に覚えさせました。それから先輩方の話や緑の雇用の研修などで、危険な場合や色々なパターンの切り方や、伐倒の仕方を勉強しました。上手く伐倒が出来るようになってくると狙った方向に倒れた時の達成感や太い木を伐倒した時の爽快感は何とも言えないものでした。

山の中での作業なので、危険な時も沢山あります。これからも安全を第一に考え、研修で学んだ事を現場に生かし、よりよい山づくりをしたいと思います。

